

相模原市立グラウンド等スポーツ施設に関する条例

平成 17 年 12 月 21 日

条例第 162 号

(趣旨)

第 1 条 この条例は、相模原市立グラウンド等スポーツ施設の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第 2 条 スポーツの振興及び市民の体力と健康を増進するため、相模原市立グラウンド等スポーツ施設(以下「スポーツ施設」という。)を設置し、その名称及び位置は別表第 1 のとおりとする。

(供用期間及び供用時間)

第 3 条 スポーツ施設の供用期間及び供用時間は、別表第 2 のとおりとする。

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、同項に規定する供用期間及び供用時間を変更することができる。

3 市長は、前項の規定により供用期間を変更し、又は供用時間を短縮する変更をするときは、あらかじめその旨を市民に周知するものとする。

(利用の承認)

第 4 条 スポーツ施設を利用しようとする者は、市長の承認を受けなければならない。

2 市長は、スポーツ施設の管理上必要と認める範囲内で、前項の承認に条件を付することができる。

(利用の制限)

第 5 条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第 1 項の利用の承認をしないものとする。

(1) スポーツ施設における公の秩序を害し、又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

(2) スポーツ施設の施設、附属設備等(以下「施設等」という。)を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(3) 集团的又は常習的に暴力その他不法行為を行うおそれがある組織の利益に

なると認められるとき。

(4) 前 3 号に掲げるもののほか、スポーツ施設の管理上支障があると認められるとき。

(使用料)

第 6 条 第 4 条第 1 項の規定による利用の承認(ふじのマレットゴルフ場の利用に係るものを除く。)を受けた者は、別表第 3 に定める使用料を納めなければならない。

2 使用料は、前納とする。ただし、規則で定める場合は、後納とすることができる。

(使用料の減免)

第 7 条 前条第 1 項の規定にかかわらず、市長は、規則で定めるところにより、使用料を減額し、又は免除することができる。

(使用料の不還付)

第 8 条 既に納付した使用料は、還付しない。ただし、規則で定めるところにより、その全部又は一部を還付することができる。

(利用の承認の取消し等)

第 9 条 市長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、利用の承認を取り消し、又は利用を制限し、若しくは利用を中止させることができる。この場合において、市長は、これらの処分によって生じた損害の責めを負わない。

(1) 第 4 条第 1 項の規定による利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)が同条第 2 項の規定による利用の承認の条件に違反したとき。

(2) 利用の申請に虚偽又は不正があったとき。

(3) 第 5 条各号のいずれかに該当するに至ったとき。

(4) 災害その他やむを得ない理由により市長が必要と認めたとき。

(5) 前各号に掲げるもののほか、利用者(利用目的に応じて入場した者を含む。)が、この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(権利譲渡等の禁止)

第 1 0 条 利用者は、利用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(特別な設備等)

第 1 1 条 利用者は、特別な設備を施し、又は特別な器具等を使用するときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。

2 市長は、必要があると認めるときは、利用者に特別な設備を施させることができる。

(入場の制限等)

第 1 2 条 市長は、スポーツ施設の管理上適当でないと認められる者があるときは、その入場を拒み、又は退場させることができる。

(販売行為等の禁止)

第 1 3 条 何人も、スポーツ施設において、物品の販売、広告、宣伝、寄附募集行為その他これらに類する行為をしてはならない。ただし、あらかじめ市長の許可を受けた場合は、この限りでない。

(原状回復の義務)

第 1 4 条 利用者は、スポーツ施設の利用を終了したとき、又は第 9 条の規定により利用の承認を取り消され、利用の制限を受け、若しくは利用を中止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

2 利用者が前項の義務を履行しないときは、市長がこれを執行し、これに要した費用を利用者から徴収する。

(損害賠償)

第 1 5 条 スポーツ施設の施設等を故意又は過失により損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(指定管理者による管理)

第 1 6 条 市長は、スポーツ施設の設置の目的を効果的に達成するため、地方自治法(昭和 2 2 年法律第 6 7 号)第 2 4 4 条の 2 第 3 項の規定により、大野台南テニスコート、小倉プール、小倉テニスコート、名倉グラウンド及びふじのマレットゴルフ場(以下「大野台南テニスコート等」という。)の管理を法人その他の団体であって市長が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

(指定管理者の公募)

第 17 条 市長は、指定管理者の指定をしようとするときは、公募するものとする。

(指定管理者の指定の申請等)

第 18 条 前条の規定による公募(以下「公募」という。)に係る指定管理者の指定を受けようとするものは、大野台南テニスコート等の管理に関する業務の実施方法その他の事項についての計画書(以下「事業計画書」という。)その他市長が必要と認める書類を添えて、市長に申請しなければならない。

2 市長は、前項の規定により申請したもののうち、次に掲げる基準(以下「指定の基準」という。)に最も適合していると認めるものを、指定管理者として指定するものとする。

(1) 事業計画書の内容が大野台南テニスコート等の管理に関する業務の適正かつ確実な実施のために適切なものであること。

(2) 事業計画書に沿った大野台南テニスコート等の管理に関する業務の適正かつ確実な実施に必要な能力を有するものであること。

(指定管理者の指定の特例)

第 19 条 前条の規定にかかわらず、市長は、次の各号のいずれかに該当する場合で、かつ、特に緊急を要するため新たに公募を行う時間的余裕がないことが明らかである場合は、法人その他の団体の中からスポーツ施設の設置の目的を最も効果的に達成することができると思料するものを指定管理者として指定することができる。

(1) 前条第 2 項の規定により指定管理者として指定しようとしたものが、地方自治法第 244 条の 2 第 6 項の規定による議会の議決を経るまでの間に、新たに判明した事実により大野台南テニスコート等の管理を行うことが不適当と認められた場合又はそのものの事情により指定管理者の指定を辞退した場合で、同一の公募により、前条第 1 項の規定による申請(以下「指定の申請」という。)をしたものに指定の基準に適合していると認めるものがないとき。

(2) 指定の申請をしたものに指定の基準に適合していると認めるものがない場合

(3) 指定の申請をするものがない場合

2 市長は、前項の規定により指定管理者として指定しようとするときは、当該団

体に対し、前条第１項に規定する書類の提出を求め、指定の基準に適合していることを確認して当該団体を指定管理者として指定するものとする。

(その他の事項の規則委任)

第２０条 第１６条から前条までに定めるもののほか、指定の申請の資格、指定管理者の指定の手續等について必要な事項は、別に規則で定める。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第２１条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

(１)大野台南テニスコート等の供用期間の変更(第８号に規定する業務の遂行上必要と認められる場合に限る。以下この号において同じ。)及び供用時間の変更に関する業務。ただし、大野台南テニスコート等の供用期間を変更し、又は供用時間を短縮する変更をするときは、あらかじめ市長の承認を受けなければならない。

(２)大野台南テニスコート等の利用の承認、利用の制限、利用の承認の取消し等に関する業務

(３)特別な設備等の使用等の承認に関する業務

(４)入場の制限等に関する業務

(５)販売行為等の許可に関する業務

(６)第１４条第２項の規定による原状回復に係る事務の執行及びこれに要した費用の徴収に関する業務

(７)スポーツの振興及び市民の体力と健康を増進するための事業の実施に関する業務のうち、市長が別に定めるもの

(８)大野台南テニスコート等の施設等の維持管理に関する業務のうち、市長が別に定めるもの

(９)前各号に掲げるもののほか、大野台南テニスコート等の管理上必要と認められる業務で、市長が別に定めるもの

(利用料金)

第２２条 第４条第１項の規定による利用の承認(ふじのマレットゴルフ場の利用に係るものに限る。)を受けた者は、指定管理者に対し、その利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を納付しなければならない。

2 利用料金は、別表第4に定める額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を得て定める。

3 利用料金は、前納とする。ただし、規則で定める場合は、後納とすることができる。

4 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(利用料金の減免)

第23条 前条第1項の規定にかかわらず、指定管理者は、規則で定めるところにより、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の不還付)

第24条 既に納付された利用料金は、還付しない。ただし、指定管理者は、規則で定めるところにより、その全部又は一部を還付することができる。

(指定管理者の管理に係る読替え)

第25条 大野台南テニスコート等の管理を指定管理者が行う場合において、第3条第2項及び第3項、第4条、第5条、第9条、第11条から第13条まで、第14条第2項並びに第15条の規定の適用については、第3条第2項中「市長」とあるのは「市長又は第16条に規定する指定管理者」と、同条第3項、第4条、第5条、第9条各号列記以外の部分及び第4号、第11条から第13条まで並びに第14条第2項中「市長」とあるのは「第16条に規定する指定管理者」と、第15条本文中「市長」とあるのは「次条に規定する指定管理者」とする。

(委任)

第26条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年3月20日から施行する。

(津久井町及び相模湖町の編入に伴う経過措置)

2 この条例の施行の日前に旧津久井町立総合運動場条例(昭和46年津久井町条例第19号)又は旧相模湖町スポーツ施設の設置及び管理に関する条例(昭和59年相模湖町条例第16号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(城山町及び藤野町の編入に伴う経過措置)

- 3 城山町及び藤野町の編入の日(以下「編入日」という。)前に旧城山町スポーツ施設並びにレクリエーション施設の設置及び管理に関する条例(昭和54年城山町条例第4号)又は旧藤野町スポーツ施設等の設置及び管理に関する条例(昭和59年藤野町条例第13号)(以下「旧町条例」という。)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。
- 4 編入日前に旧町条例の規定により受けた許可に係る使用料については、なお旧町条例の規定の例による。

附 則(平成18年12月25日条例第135号)

この条例は、平成19年3月11日から施行する。

附 則(平成19年10月1日条例第47号)

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から起算して4月を超えない範囲内において規則で定める日(以下「施行日」という。)から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

- 2 大野台南テニスコートの利用の承認申請の受付その他必要な準備行為は、施行日前に行うことができる。

附 則(平成20年3月27日条例第36号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。ただし、別表第2第2号アの表の改正規定(利用時間区分の欄を削る改正規定及び備考1を削り、備考2を備考とする改正規定を除く。)及び同号イの表の改正規定並びに附則第3項の規定は平成20年4月1日から、附則第4項の規定は公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正前の第5条の規定により納付された平成21年4月1日以後のふじのマレットゴルフ場の利用に係る使用料は、この条例による改正後の相模原市立グラウンド等体育施設に関する条例(以下「新条例」という。)第22条の規定により納付された同日以後のふじのマレットゴルフ場の利用に係る利用料

金とみなす。

- 3 別表第2第2号アの表の改正規定(利用時間区分の欄を削る改正規定及び備考1を削り、備考2を備考とする改正規定を除く。)及び同号イの表の改正規定による改正後の別表第2第2号アの表及びイの表の規定は、平成20年6月1日以後の利用に係る使用料から適用し、同日前の利用に係る使用料については、なお従前の例による。

(準備行為)

- 4 新条例の規定による指定管理者の指定に関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行の日前においても行うことができる。

附 則(平成21年12月22日条例第36号)

この条例は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成27年10月1日条例第73号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例による改正後の別表第3第1号、第2号ア(小倉プールに係る部分を除く。)及び第5号アの規定は、平成28年10月1日以後の利用に係る使用料について適用し、同日前の利用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(令和2年3月16日条例第37号)

(施行期日)

- 1 この条例は、令和2年10月1日から施行する。ただし、第1条及び附則第2項の規定は、令和2年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 第1条の規定による改正後の別表第3第2号ア、第3号ア及び第5号アの規定は、令和2年10月1日以後の利用に係る使用料について適用し、同日前の利用に係る使用料については、なお従前の例による。
- 3 第2条の規定による改正後の別表第3第1号、第2号ア(小倉プールに係る部分を除く。)、第3号ア、第4号ア(小原プールに係る部分を除く。)及び第5号アの規定は、令和3年4月1日以後の利用に係る使用料について適用し、同日前の利

用に係る使用料については、なお従前の例による。

附 則(令和 3 年 2 月 1 5 日条例第 2 7 号)

(施行期日)

1 この条例は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

(教育委員会がした処分等に関する経過措置)

2 この条例の施行の日前に第 1 条及び第 3 条から第 6 条までの規定による改正前の相模原市体育館に関する条例、相模原市立総合体育館条例、相模原市立総合水泳場条例、相模原市立グラウンド等体育施設に関する条例又は相模原市立相模原球場条例の規定により教育委員会がした又はすべき処分、手続その他の行為は、第 1 条及び第 3 条から第 6 条までの規定による改正後の相模原市体育館に関する条例、相模原市立総合体育館条例、相模原市立総合水泳場条例、相模原市立グラウンド等体育施設に関する条例又は相模原市立相模原球場条例の相当規定により市長がした又はすべき処分、手続その他の行為とみなす。

(附属機関の設置に関する条例の一部改正に伴う経過措置)

3 この条例の施行の際現に第 2 条の規定による改正前の附属機関の設置に関する条例(以下「改正前の附属機関条例」という。)に定める相模原市スポーツ推進審議会の委員である者は、この条例の施行の日に、第 2 条の規定による改正後の附属機関の設置に関する条例に定める相模原市スポーツ推進審議会の委員として市長に委嘱されたものとみなし、その任期は、改正前の附属機関条例による任期の残任期間とする。

別表第 1 (第 2 条関係)

名称	位置
昭和橋スポーツ広場	相模原市南区当麻 3 5 3 9 番地先
新磯野スポーツ広場	相模原市南区新磯野 2 1 4 6 番地 4
大野台南テニスコート	相模原市南区大野台 3 丁目 4 5 番 1 5 2 号
三栗山スポーツ広場	相模原市緑区小倉 1 9 0 7 番地
原宿グラウンド	相模原市緑区川尻 1 9 3 0 番地 1
城山湖テニスコート	相模原市緑区川尻 4 4 5 2 番地 8
城山湖野球場	相模原市緑区川尻 5 8 4 1 番地

中沢グラウンド	相模原市緑区中沢 2 3 9 番地
小倉プール	相模原市緑区小倉 1 番地
小倉テニスコート	相模原市緑区小倉 1 番地
青野原グラウンド	相模原市緑区青野原 2 1 1 8 番地
串川グラウンド	相模原市緑区長竹 8 5 0 番地 1
国体記念鳥屋グラウンド	相模原市緑区鳥屋 2 3 0 5 番地 8
与瀬グラウンド	相模原市緑区与瀬 8 8 4 番地
内郷グラウンド	相模原市緑区寸沢嵐 8 2 3 番地
小原プール	相模原市緑区小原 6 9 7 番地 3
日連グラウンド	相模原市緑区日連 1 4 2 6 番地 1
名倉グラウンド	相模原市緑区名倉 1 0 0 0 番地
ふじのマレットゴルフ場	相模原市緑区吉野 1 0 1 0 番地 1
牧郷体育館	相模原市緑区牧野 7 0 2 9 番地
沢井体育館	相模原市緑区澤井 9 3 6 番地

別表第 2 (第 3 条関係)

名称	供用期間	供用時間
昭和橋スポーツ広場	1 月 4 日から 1 2 月 2 8 日まで	6 時から 1 7 時まで
新磯野スポーツ広場		
大野台南テニスコート		8 時 3 0 分から 1 8 時 3 0 分まで
三栗山スポーツ広場		6 時から 1 7 時まで
原宿グラウンド		6 時 3 0 分から 1 8 時 3 0 分まで
城山湖テニスコート		
城山湖野球場		8 時 3 0 分から 1 8 時 3 0 分まで
中沢グラウンド		6 時 3 0 分から 1 8 時 3 0 分まで
小倉プール	7 月 1 日から 8 月 3 1 日 まで	9 時から 1 6 時 3 0 分まで
小倉テニスコート	1 月 4 日から 1 2 月 2 8	テニスコート 8 時 3 0 分から 2

	日まで	1 時 3 0 分まで 練習板 8 時 3 0 分から 1 7 時まで
青野原グラウンド		多目的グラウンド 6 時から 2 1 時 3 0 分まで テニスコート 6 時から 1 8 時まで
串川グラウンド		多目的グラウンド 6 時から 1 7 時まで ゲートボール場 6 時から 1 8 時まで
国体記念鳥屋グラウンド		6 時から 2 1 時 3 0 分まで
与瀬グラウンド		8 時 3 0 分から 2 1 時 3 0 分まで
内郷グラウンド		
小原プール	7 月 2 1 日から 8 月 3 1 日まで	1 0 時から 1 7 時まで
日連グラウンド	1 月 4 日から 1 2 月 2 8 日まで	8 時 3 0 分から 1 7 時まで
名倉グラウンド	日まで	8 時 3 0 分から 2 1 時 3 0 分まで
ふじのマレットゴルフ場		9 時から 1 8 時 3 0 分まで
牧郷体育館		8 時 3 0 分から 2 1 時 3 0 分まで
沢井体育館		

別表第 3 (第 6 条関係)

(1) 三栗山スポーツ広場、昭和橋スポーツ広場、新磯野スポーツ広場及び大野台南テニスコート

施設使用料

施設名	利用単位	使用料
-----	------	-----

三栗山スポーツ広場	半面	市民	2 時間	5 0 0 円
		市民以外のもの	つき	2 , 5 0 0 円
	全面	市民		1 , 0 0 0 円
		市民以外のもの		5 , 0 0 0 円
昭和橋スポーツ広場	1 面	市民	2 時間	5 0 0 円
新磯野スポーツ広場		市民以外のもの	つき	2 , 5 0 0 円
大野台南テニスコート	1 面	市民	2 時間	1 , 3 0 0 円
		市民以外のもの	つき	6 , 5 0 0 円

備考 市民とは、市内に居住する者、市内に在勤し、又は在学する者、市内に所在する団体その他市長が適当であると認めるものをいう。

(2) 原宿グラウンド、城山湖野球場、中沢グラウンド、城山湖テニスコート、小倉プール及び小倉テニスコート

ア 施設使用料

施設名・利用区分	利用単位			使用料
原宿グラウンド	1 面	市民	2 時間につ き	5 0 0 円
		市民以外のもの		2 , 5 0 0 円
	全面	市民		1 , 0 0 0 円
		市民以外のもの		5 , 0 0 0 円
城山湖野球場 中沢グラウンド(多目的グラ ウンド)	1 面	市民	2 時間につ き	5 0 0 円
		市民以外のもの		2 , 5 0 0 円
城山湖テニスコート 中沢グラウンド(テニスコ ート)	1 面	市民	2 時間につ き	4 0 0 円
		市民以外のもの		2 , 0 0 0 円
小倉プール	大人		1 回	5 0 0 円
	小人(中学生以下の者)			2 5 0 円

小倉テニスコ ート	テニスコート	1 面	市民	2 時間につ き	1 , 3 0 0 円
			市民以外のもの		6 , 5 0 0 円
	練習板のみ	3 0 分につき			2 6 0 円

備考 市民とは、第 1 号の表備考に定めるものをいう。

イ 附属設備使用料

設備名	利用単位	使用料
小倉テニスコート夜間照明設備	3 0 分につき	2 0 0 円

(3) 青野原グラウンド、串川グラウンド及び国体記念鳥屋グラウンド

ア 施設使用料

施設名	利用単位			使用料
青野原グラウンド(多目的グラウンド)	半面	市民	2 時間につき	5 0 0 円
		市民以外のもの		2 , 0 0 0 円
	全面	市民		1 , 0 0 0 円
		市民以外のもの		4 , 0 0 0 円
串川グラウンド(多目的グラウンド)				
国体記念鳥屋グラウンド				
青野原グラウンド(テニスコート)	1 面	市民	2 時間につき	2 4 0 円
		市民以外のもの		9 6 0 円
串川グラウンド(ゲートボール場)	1 面	市民	2 時間につき	1 6 0 円
		市民以外のもの		6 4 0 円

備考 市民とは、第 1 号の表備考に定めるものをいう。

イ 附属設備使用料

設備名	利用単位	使用料
-----	------	-----

青野原グラウンド夜間照明設備	30分につき	1,300円
国体記念鳥屋グラウンド夜間照明設備		

(4) 与瀬グラウンド、内郷グラウンド及び小原プール

ア 施設使用料

施設名	利用単位			使用料
与瀬グラウンド	1 面	市民	2 時間につき	5 0 0 円
内郷グラウンド		市民以外のもの		2 , 5 0 0 円
小原プール	大人		1 回	1 3 0 円
	小人(中学生以下の者)			6 0 円

備考 市民とは、第1号の表備考に定めるものをいう。

イ 附属設備使用料

設備名	利用単位	使用料
与瀬グラウンド夜間照明設備	30分につき	1,000円
内郷グラウンド夜間照明設備		

(5) 日連グラウンド、名倉グラウンド、牧郷体育館及び沢井体育館

ア 施設使用料

施設名		利用単位			使用料	
日連グラウンド		1 面	市民	2 時間に	5 0 0 円	
			市民以外のもの	つき	1 , 5 0 0 円	
名倉 グラ ウン ド	多目的グラウンド	半面	市民	2 時間に	1 , 6 0 0 円	
			市民以外のもの	つき	6 , 4 0 0 円	
		全面	市民	つき	3 , 2 0 0 円	
			市民以外のもの		1 2 , 8 0 0 円	
	テニスコート	1 面	市民	2 時間に	1 , 3 0 0 円	
			市民以外のもの	つき	3 , 9 0 0 円	
	ゲートボール場	1 面	市民	2 時間に	1 6 0 円	
			市民以外のもの	つき	4 8 0 円	
	多目的室	市民			2 時間に	9 3 0 円

		市民以外のもの	つき	2 , 7 0 0 円
牧郷体育館		市民	2 時間に	4 6 0 円
沢井体育館		市民以外のもの	つき	1 , 3 0 0 円

備考 市民とは、第 1 号の表備考に定めるものをいう。

イ 附属設備使用料

設備名		利用単位	使用料
名倉グラウンド夜間照明設備	多目的グラウンド	3 0 分につき	1 , 2 5 0 円
	テニスコート		2 0 0 円
	ゲートボール場		1 0 0 円

別表第 4 (第 2 2 条関係)

(1) 施設利用料金

施設名	利用単位		利用料金
ふじのマレットゴルフ場	市民	1 回	1 6 0 円
	市民以外のもの		4 8 0 円

備考 市民とは、別表第 3 第 1 号の表備考に定めるものをいう。

(2) 附属設備利用料金

設備名	利用単位	利用料金
マレットゴルフ用具	1 回 (1 セット)	2 0 0 円